

混迷する時代を幾つも乗り越え私たちが存在する
一筋の光を求め一羽の鳥が舞い降りる

表紙写真作者：宮寄祥子「Hoh'oh」
撮 影：岡山知憲

そこにある
存在と記憶展
—それぞれの今からみえるもの—

国登録有形文化財（建造物）
旧林家住宅
国登録記念物
旧林氏庭園

× **現代アート**

参加作家

家原利明 (Iehara Toshiaki)
小平健一 (Kodaira Kenichi)
波多野友香 (Hatanaka Yuka)
宮寄祥子 (Miyazaki Sachiko)
水谷一子 (Mizutani Hajimeko)
大塚将司 (Ohtsuka Masashi)

2020年
10月10日 土 日 **25日** 日 **入場無料**

9時～16時30分 ※最終日は16時まで
※休館日：10月12日(月)、19日(月)

場 所： 国登録有形文化財 **旧林家住宅**
一宮市起字下町211番地（一宮市尾西歴史民俗資料館 別館）

イベント **電子ピアノ演奏**（演奏：岡山知憲）

10月10日 土・11日 日 13時30分～（約30分）

参加無料

企 画：大塚将司（美術家）
園部知江子（ハートフィールドギャラリー）

主催・問い合わせ：

美濃路×木曾川 ミュージアム TEL 0586-62-9711

一宮市尾西歴史民俗資料館



建物内や庭園全体が客席です

私たち人間は、遠い過去の進化と歴史の中に「存在」を見出し、そこにある「記憶」を紡ぐように今を生きています。
6人の美術作家がそれぞれの「存在と記憶」を意識して、旧林家住宅と庭園との空間の中で新たな創造を生み出します。

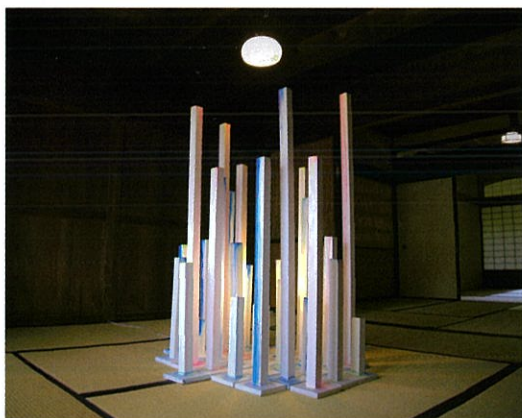


「ぶつぎり」 合版パネルに色鉛筆 [2020]
家原利明 (Iehara Toshiaki)

画家
2009 『常滑フィールド・トリップ』 (常滑市)
2010 『色鉛筆で描きました』展 Ginga (岐阜市)、
『伯利西爾コーヒー』 Brazil Coffee (名古屋市)
2011 『色鉛筆とく』展 music salon HALO (あま市)
2012 『家原美術館』文化のみち榎木園 (名古屋市)
2013 『家原美術館2013』有松・旧山田薬局 (名古屋市)
2014 galleryten (千歳市)、グループ展
ハードフィールドギャラリー (名古屋市)、
gallery blanka (名古屋市)
2015 『家原美術館2015』 (岐阜市)、
グループ展 愛知県美術館 (名古屋市)
2016 『家原利明展覧会2016春』、
K.A.T Studio (名古屋市)
2017 レクトヴァンギャラリー (東京)、
グループ展 三井物産記念美術館 (一宮市)
2018 『O.O.展』 / ティオ池館 (知立市)
2019 『家原美術館2019』 (岐阜市)

「Hoh'oh」 ミクストメディア [2020]
宮崎祥子 (Miyazaki Sachiko)

一宮市在住
名古屋造形芸術短期大学 染織コース卒業
2016 『for beautiful human life vol.4』
ハードフィールドギャラリー (名古屋市)
2016 『お寺アートvol.5』
真宗大谷派御堂頭正寺 (豊田市)
2016 『いきものたちのこころ』
Art Festa in 羽島 vol.8 羽島館 (北名古屋市)
2017 『それでも僕らが旅に出る理由』
AmaMo(s) のこざり (一宮市)
2020 わたしの一点「つながる原風景」
織部亭 (一宮市)



「葬られた時間と記憶」 アクリル・木・LED照明 [2020]
大塚将司 (Ohtsuka Masashi)

江南市在住
愛知県立芸術大学 美術学部卒 (伊藤康教) 卒業
それぞれの現在展(代表)、江南市・一宮作家協会会員
2018 見えるものと見えないもの展 (旧林家住宅) (一宮市)
個展 (ハードフィールドギャラリー)
アートの発信力II (尾西信用金庫本店事務センター) (一宮市)
一宮市作家協会選出展 (一宮市博物館) (一宮市)
第23回それぞれの現在展 (愛知県美術館文化センター E F 室) (名古屋市)
一宮市作家協会選出展 (一宮市博物館) (名古屋市)
2019 第24回それぞれの現在展 (愛知県美術館文化センター1室) (名古屋市)
時空のサンクチュアリ展 (旧林家住宅) (一宮市)

同時開催

Museum Shop

出品作家 家原 利明 伊藤 悦子 井上 直子 大塚 将司 岡山 知憲 加藤 恵利 兼藤 忍
川崎 和美 小平 健一 後藤 章子 瀬古 清水 田口友里衣 南谷 富貴 波多野友香
水谷 一子 宮崎 祥子 (順不同)

存在と記憶展

— それぞれの今からみえるもの —



「1日にいいものもあるいいものもない」 陶器 [2020]
小平健一 (Kodaira Kenichi)

土岐市在住
多治見市陶磁器意匠研究所修了
2013~2019
『For Beautiful Human Life』 vol.1
〜ハードフィールドギャラリー (名古屋市)



「瀬戸内からの便り」和紙に岩絵具、アクリル [20]
波多野友香 (Hatano Yuka)

一宮市在住
名古屋造形大学 日本画コース卒業
galerie deux deux (愛知) スタッフ
一宮市常設寺に模写奉納
2017 一宮市美術館 入選
2008 現代美術国際交流展 TRANSIT (香港)
2010~12,15,17
ハードフィールドギャラリー (名古屋市)
2012-14-21 亀山トリエンナーレ (亀山市)
2013 ZAKKA展 (フランス)
2019-20 それぞれの現在展 (名古屋市)

「cat」 brass wire [2020]
水谷一子 (Mizutani Hajimeko)

名古屋市在住
名古屋造形芸術短期大学 インターメディアコース専攻科修了
2018 『見えるものと見えないもの』 Petit Restaurant II Fait Beau (名古屋市)
『見えるものと見えないもの』 旧林家住宅 (一宮市)
『漆(ろう)vol.2』 OxCafe (名古屋市)
『漆(ろう)vol.2』 Gallery naovo (名古屋市)
2019 『見えるものと見えないもの』 横断 (名古屋市)
『氷谷一子』 ワイヤアート展
メナード美術館 アネックス (別館) (小牧市)
『時空のサンクチュアリ展』 旧林家住宅 (一宮市)

岡山知憲 (Okayama Tomonori)

豊橋市在住
名古屋音楽大学音楽学部音楽科電子音楽コース卒業
2017 桐本城実演復興支援のために アートのつながり展
ファン・アート・ミュージアム 2017.12
2018 見えるものと見えないもの (旧林家住宅)
2019 旧林家住宅開館記念演奏会 (旧林家住宅)
メナード美術館 サロン・コンサート (アネックス・ホール)

流れていく時間に、ひとつひとつの瞬間を残して。あなたのために
に紡がれた糸は染められ、やがて生地に織り上げられる。
みるこ、きくこ、話すこ、ここにいること、愛すること。
この川に始まりと終わりがあふれるように、私たちは命を受け取る
ものであり、それをいつか渡すものである。(岡山知憲)

美濃路×尾西川ミュージアム

一宮市尾西歴史民俗資料館

国登録有形文化財

旧林家住宅

入場
無料

一宮市起字下町211番地

TEL 0586-62-9711

休館日:10月12日(月)、19日(月)

アクセス:

JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、
一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起(おこし)」
行きで約20分「起」下車、徒歩5分

●ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。
●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、演奏の中止や臨時休館をする場合があります。
ご来館の際は、資料館ウェブページでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせ下さい(0586-62-9711)。

